

第24回全国大会のご案内



全国大会開催要項

2025年7月5日（土）、6日（日）
高崎経済大学

参加費のお知らせ

- 正会員（一般）：4,000円
- 正会員（学生）：2,000円
- 非会員（一般）：5,000円
- 非会員（学生）：2,000円
- 当日参加：5,000円

情報交換会費

- 正会員・非会員（一般）：6,000円
- 正会員・非会員（学生）：3,000円

6月22日（日）までにQRコードまたは大会実行委員会メールアドレス (jsics2025@gmail.com) へ参加申し込みをお願いします。期限後は当日参加料金となります。また情報交換会は事前に申し込みされた方に限らせていただきます。申し込み後、下記口座へ参加費・情報交換会費のお振り込みをお願いします。

大会参加申込QRコード 参加費・情報交換会費振込口座



- (1) ゆうちょ銀行から振込
記号・番号：11360-24218881
名義：齋川貴嗣（サイカワタカシ）
- (2) ゆうちょ銀行以外からの振込
ゆうちょ銀行
普通 一三八店 2421888
名義：齋川貴嗣（サイカワタカシ）

アクセス



託児所について

高崎経済大学内および近隣に託児施設はございません。一時預かり等のサービスについては、以下のサイトをご確認の上、直接お問い合わせいただくようお願いいたします。
<https://takasaki-kosodate.jp>

上記公共バスの他、7月5日（土）・6日（日）両日ともJR高崎駅西口9：00発と11：00発の2本の本学会専用バスを運行します。乗り場等詳細は大会プログラムでご案内します。

第24回全国大会スケジュール

7月5日（土）

時間	プログラム	会場
9:00～	受付	
10:00～ 12:00	<p>【自由論題A】 文化外交と文化政策</p> <p>戦後日本国際文化交流の黎明 —占領期の国際文化振興会理事長・加納久朗に着目して 金子聖仁（東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程）</p> <p>70年大阪万博における日本イメージの構築と発信 —会場計画と日本館を事例として 加畑杏理（東洋大学客員研究員）</p> <p>『詩神の声聞こゆ』が諷刺する冷戦期アメリカの欺瞞 —プロパガンダ、異文化交流、そして芸術の可能性 徳永慎也（群馬パース大学教養部講師）</p> <p>冷戦期におけるシンガポールの華語政策 菅野敦志（共立女子大学国際学部教授）</p> <p>司会：大山貴稔 （九州工業大学）</p>	143
	<p>【自由論題B】 文化の翻訳／翻訳の文化</p> <p>文化触変を起こす翻訳行為 —明治前期の翻訳書に付された翻訳言説の分析 齊藤美野（順天堂大学国際教養学部准教授）</p> <p>『ハイジ』来日す—野上弥生子による重訳をめぐる 葉柳和則（長崎大学教授）</p> <p>古漢文読解の誤りが日中文化交流に及ぼす影響 —『入唐求法巡礼行記』を中心に 韓如帆（龍谷大学国際学研究科博士後期課程）</p> <p>幸田露伴『努力論』の再読 —中国古典の引用と解釈に注目して 梁鎮輝（宇都宮大学国際学部助教）</p> <p>司会：目黒志帆美 （東北大学）</p>	144
	<p>【自由論題C】 言葉と他者</p> <p>マルセル・ブルーストの他者理解に見るフィルターの機能 —ジェラルド・ド・ネルヴァルの夢の主題との関連を中心に 高橋梓（近畿大学准教授）</p> <p>国語・民族性・他者—実藤恵秀の国語改革論を中心に 朱琳（仙台高等専門学校助教）</p> <p>日本語の「恥」と英語の“shame”の意味構造 —文学作品のパラレルコーパスのデータ分析から 斎藤珠代（東北学院大学助教）</p> <p>日本語教育への文化適応型教授法の応用に関する研究 Duan Yunyi（宇都宮大学地域創成科学研究科博士後期課程）</p> <p>司会：渡辺愛子 （早稲田大学）</p>	145
	<p>【自由論題D】 文化の越境とメディア</p> <p>「奔放なおんなたち」の表象とその国際的な展開 —<i>The Review of Reviews</i>とアメリカの新聞・雑誌にみるフラッ パーとモダン・ガール 深松亮太（常磐大学人間科学部准教授）</p>	

	司会：坂口可奈 (北海商科大学)	「K-Drama」と「韓流ドラマ」ーグローバル受容中の日本における韓国ドラマへの認識の交差 石俊彦 (東北大学大学院国際文化研究科博士後期課程) アニメーション映画『ムーラン』 (1998) と実写映画『ムーラン』 (2020) との比較研究 ー映画における中国像の変遷とその受容の問題 孫蘇渝 (東北大学国際文化研究科博士後期課程) 地域住民～来訪者間の触媒としての動画サイトの作用について ー中国山東省淄博市におけるオーバーツーリズムの事例から 張昕 (山口県立大学国際文化研究科修士課程)	135
12:00～ 13:30	昼食 (会場:142) 大学院生交流会 (会場:157) 理事懇談会 (会場:146)		
13:30～ 15:30	【共通論題①】 自治体と国際文化ー平和と経済開発をめぐるグローバル・ヒストリー 代表・司会： 高光佳絵 (千葉大学)	大和裕美子 (九州共立大学) 池上大祐 (琉球大学) 高光佳絵 (千葉大学) コメンテーター：斉藤理 (山口県立大学)、川村陶子 (成蹊大学)	143
	【共通論題②】 南方抑留の残像としての東南アジアイメージ 代表・司会： 山本博之 (京都大学)	山本博之 (京都大学) 林英一 (二松学舎大学) 岡田泰平 (東京大学) コメンテーター：菅野敦志 (共立女子大学)	144
15:40～ 17:40	【公開シンポジウム】 世界遺産をめぐる文化と政治の相克 司会：齋川貴嗣 (高崎経済大学)	Shuri Castle and the Politics of Cultural Heritage Tze M. Loo (リッチモンド大学) 官営八幡製鐵所から考える記憶の多声性 ー摩擦とともに問い続ける 大和裕美子 (九州共立大学) 世界遺産富岡製糸場の観光地化と女性の表象 丸山奈穂 (高崎経済大学)	142
19:00～	情報交換会 (高崎市役所21階 Art Marche)		



7月6日（日）

時間	プログラム	会場
9:30～	受付	
10:00～ 11:30	<p>【自由論題E】</p> <p>人種、記憶、思想</p> <p>人種暴力の例外化と抵抗—1980年代アメリカ合衆国における 日系人強制収容の歴史的な位置づけをめぐって 阿部純（石巻専修大学助教）</p> <p>Mnemonic Activism in Brazil’s Truth and Amnesty Commissions: The Nikkei Movement to Redress Brazilian Government’s Anti- Japanese Oppression Douglas de Toledo Piza (Assistant Professor of International Affairs, Lafayette College)</p> <p>イデオロギーの持つ分断的な力はいかにして避けられるか —石橋湛山の議論を手掛かりに 鈴木裕輔（名城大学外国語学部教授）</p> <p>司会：加藤恵美 （帝京大学）</p>	143
	<p>【自由論題F】</p> <p>伝統の社会的構成</p> <p>「伝統」との向き合い方—サーミの工芸duodjiに着目して 田中佑実（北海道大学助教）</p> <p>日本文化・社会の根幹思想「和」の研究 I. 「和」の成立と その継続的な取り組み 側嶋康博（ウェブ・イベントプロデューサー）</p> <p>文化の涵養地としての高崎を再考する —ドイツ人建築家ブルーノ・タウトの時代を中心に 斉藤理（山口県立大学教授）</p> <p>司会：芝崎厚士 （駒澤大学）</p>	144
	<p>【自由論題G】</p> <p>政治的環境と気候正義</p> <p>ポルトガル権威主義体制の終焉とカトリック教会 西脇靖洋（静岡文化芸術大学准教授）</p> <p>イギリスのEU離脱—5年後の検証と今後の展望 永野均（甲南女子大学国際学部准教授）</p> <p>気候変動で沈む土地はなぜ保全されるべきなのか —人間と自然環境とのつながりを出発点として 小野藍（福岡こども短期大学助教） 藤原拓広（九州大学大学院比較社会文化研究院特別研究者）</p> <p>司会：土谷岳史 （高崎経済大学）</p>	145
11:45～ 13:30	ランチセッション 総会 第14回平野健一郎賞表彰式 ICCO資格認定報告	142
13:30～ 14:30	フォーラム 『インターカルチュラル』投稿者に聞く	142
14:30～ 16:30	<p>【共通論題③】</p> <p>鶴見和子の／という環境 思想—国際性、ジェンダ ー、そして生命へ</p> <p>代表・司会： 森田系太郎（立教大学）</p> <p>杉本星子（京都文教大学）</p> <p>丹羽一晃（東京農工大学）</p> <p>金杉範子（JAWW [日本女性監視機構]）</p> <p>コメンテーター：岩村沢也（淑徳大学）</p>	143

<p>【共通論題④】 「地域への目ざめ」を介した複言語・複文化教育プロジェクト</p> <p>代表・司会： 高橋梓（近畿大学）</p>	高橋梓（近畿大学）	144
	熊野真規子（弘前大学）	
	松井真之介（鹿児島大学）	
	安藤博文（静岡大学）	
	コメンテーター：藤田賀久（多摩大学）	

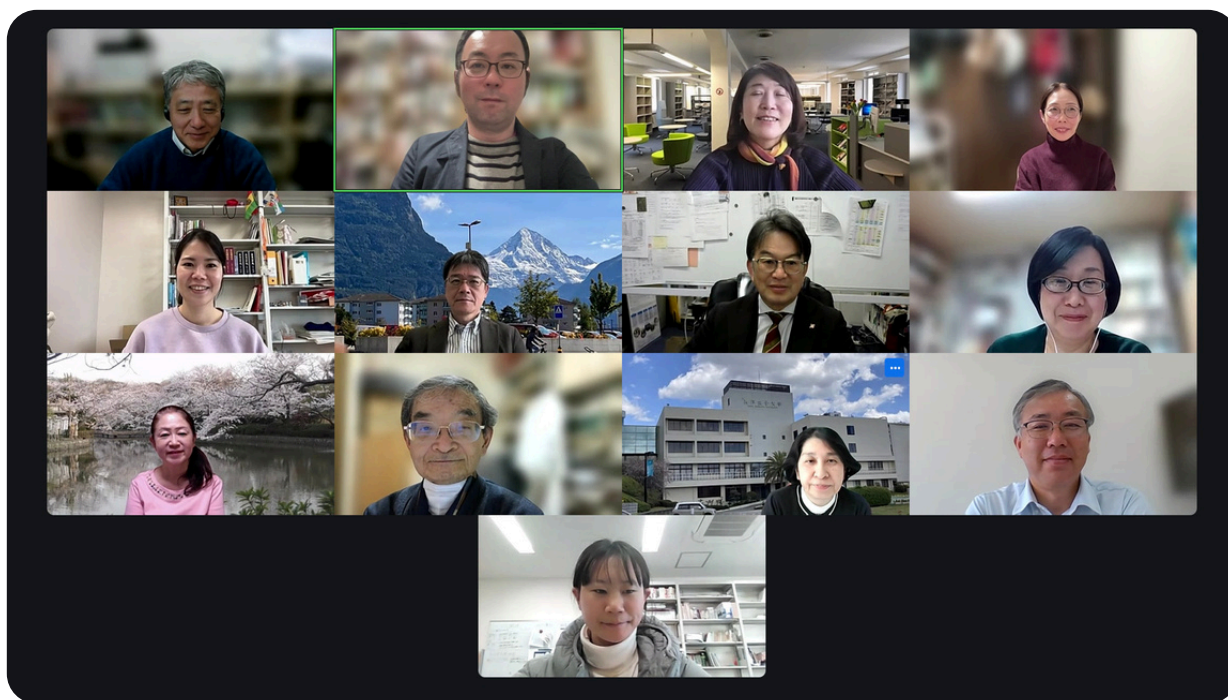
「国際文化学」関連学部・大学院情報交換会

コロナ禍を経て、「国際文化学」関連学部・大学院情報交換会間情報交換会が3月7日（金）に久しぶりに開催となりました。対面開催としていた以前の形式をZOOMに切り替え、全国から参加者を募集しました。

情報交換会では、川村陶子会長から概要の説明が行われ、理事より教科書プロジェクトやICCOについての紹介がありました。

参加者の皆さんからは、所属先の大学についてのご紹介とともに、研究分野や関心をお話しいただきました。全国の大学の事情や今後の展望を伺い、日本国際文化学会とのつながりについて議論を交わせる得がたい機会となりました。

ご参加の皆様に改めて御礼申し上げます。



ご参加いただいた皆様、ありがとうございました！



事務局からのお知らせ

会費納入のお願い

新年度となりましたので2025年度の年会費のご納入をお願いいたします。（すでに2025年度分の会費をご納入いただいた会員の皆さま、ご協力ありがとうございます。）

一般会員：10,000円、大学院生：5,000円、学部生：2,000円

◆ゆうちょ銀行からお振込みのとき

記号番号 00920-8-325835 日本国際文化学会（ニホンコクサイブンカガクカイ）

◆ゆうちょ銀行以外等からお振込みのとき

ゆうちょ銀行 店名〇九九 店番099 当座預金 口座番号0325835

- 過去の会費未納分は相当額の学会誌購入でも充当できます。
- 会費納入が困難な方に対する減免制度があります。

◆問い合わせ先：日本国際文化学会事務局 jsics@world.ryukoku.ac.jp

『インターカルチュラル』24号投稿論文募集（事前申込：7月20日）

『インターカルチュラル』24号の投稿論文を募集します。詳細は投稿規程をご覧ください。

その他、著書紹介、博士論文紹介記事の募集も行う予定です。詳細はメーリングリストやホームページなどでご案内いたします。

◆応募先/問い合わせ先：年報編集委員会 editorialboard.intercultural@gmail.com

2025年度ICCO短期集中セミナーについて

2025年度のICCO短期集中セミナーは8月24日～30日に龍谷大学深草学舎を会場に実施します。セミナーの運営協力や見学をご希望の方はICCO事務局へご連絡ください。お待ちしております。

問い合わせ先：ICCO事務局 kumagusu@world.ryukoku.ac.jp

全国大会開催校募集

2026年度以降の開催のご希望があれば学会事務局までお知らせください。複数のお申し出がある場合には、地域等を考慮して開催順を決定させていただきます。

◆応募先/問い合わせ先：日本国際文化学会事務局 jsics@world.ryukoku.ac.jp

ニューズレター&メーリングリスト掲載情報募集（随時）

- ◆本ニューズレターにて連載中の「私の研究歴—会員紹介」に掲載を希望される方を募集しています。（自薦他薦を問いません）
 - ◆学会会員の新刊の情報など（ニューズレター・メーリングリスト・学会誌等へ掲載予定です。）
 - ◆採用情報やその他、会員に有用と思われる情報（メーリングリストに掲載予定です。）
- ぜひ学会事務局までご連絡ください。

学会誌『インターカルチュラル』の販売について

学会誌『インターカルチュラル』の販売について、学会誌の追加購入やバックナンバーのお求めは日本国際文化学会事務局まで、メールまたは郵便にてご連絡ください。

◆問い合わせ先：日本国際文化学会事務局 jsics@world.ryukoku.ac.jp

【編集後記】

いよいよ全国大会が近づいてきました。4月には高崎経済大学で常任理事会も開催されたのですが、編集者・高橋は「はやり目」になってしまい、大阪で留守番でした……
快癒後は「ラグビーのまち」東大阪で、地元・花園近鉄ライナーズを応援！ラグビープロリーグ「リーグワン」面白いですよ！（近畿大学：高橋梓）



花園ラグビー場内の写真スポットではしゃぐ子供たち